

鉄人 28 号の力量

絵本も漫画も好きな子供ではなかった。むしろ外に出て活発に走り回っているほうが好きな私であった。それは学校に行ってから続いた。友人が漫画をむさぼり読む姿を見ると、何故か人種が違ふようにさえ思えた。

阪神淡路大震災より 15 年が経過した。6,434 人の尊い生命が犠牲となった。私の人生で最も悲しい出来事であった。なかでも私が住む神戸市長田区は、大火災が発生し震災の象徴的地域となった。我が家は火災こそ免れたものの、二度と住める家ではなかった。それから長期間に渡っての避難生活が続いた。



JR 新長田駅南に震災復興のシンボルとして、神戸市出身の漫画家・横山光輝（1934～2004）代表的作品「鉄人 28 号」の巨大モニュメントが完成した。高さ 18m の迫力はすさまじいものを感じる。ここには休日ともなれば 5 万人が訪れるというから驚きを隠せない。

この鉄人 28 号は SF ロボット漫画として、月刊誌、テレビドラマ化、テレビアニメ化、ラジオドラマ化されるなど、1956(昭和 31)年より長期間に渡って国民のアイドルとして親しまれた。その内容は少年探偵・金田正太郎の管理のもと、悪を懲らしめ正義の味方として大活躍をする痛快ストーリーである。

鉄人 28 号を真下から見ていると、その迫力と気迫で元気を頂けるような、不思議な気持ちとなってくる。逞しく前進する姿は見る人に「これからも頑張るぞー！」と、大空に響き渡るように聞こえてくる。

撮影 2010 年春

